

福岡学園広報誌

NewSophia

ニューソフィア

97号

[VOL.26-①]

Feb 2018

福岡学園は「口腔医学」を推進しています。

年頭挨拶

<理事長・福岡歯科大学長>

医科歯科総合病院に
内視鏡センター・訪問歯科センターを開設

福岡歯科大学長に高橋 裕教授就任

文部科学省「平成29年度私立大学研究ブランディング事業」における
支援対象校に選定



《Greetings》

3・4 理事長 年頭挨拶

5 福岡歯科大学長 年頭挨拶

《Featuring News》—注目のニュース—

- 6 ◆ 医科歯科総合病院に
内視鏡センター・訪問歯科センターを開設
- ◆ 都市再生機構九州支社との連携協力に関する協定を締結
- 7 ◆ 福岡歯科大学長に高橋 裕教授が就任
- 8 ◆ 文部科学省「平成29年度私立大学研究ブランディング事業」における
支援対象校に選定

《Campus News》—学園の話題—

- 9 ◆ 医科歯科総合病院建替え委員会が発足
- ◆ 「50周年」に向け準備委員会が発足
- ◆ 中国の提携大学から学生訪問団が来学
- 10 ◆ 第13回健康まるごと福岡学園
- 11 ◆ 地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会関連行事を開催
- ◆ 医科歯科総合病院で大災害時対応訓練を実施
- 12 ◆ 福岡看護大学公開講座を初開催
- ◆ 福岡歯科大学学会総会・学術大会
- ◆ 口腔医学シンポジウム、学長・学部長会議開催

《People》—学園の「ひと」—

- 13 ◆ 教員紹介
- ◆ 新評議員紹介
- ◆ 福岡医療短期大学保健福祉学科長に大倉義文氏を再任

《Events》—学園行事レポート—

- 14 ◆ 福岡歯科大学学生研修センターを改修
- ◆ ペンギン保育園クリスマス会を開催

《From Alumni》—同窓会だより—

- 15 ◆ 学術報告(要 光・11期生)
- ◆ 同窓生からの手紙(高嶺 明彦・6期生)
- 16 ◆ クリニックからこんにちは! (廣田 正毅・27期生)
- ◆ 卒業生NOW(向坊 重広・16期生)

《Affluent Voices》—みんなの声—

- 17 ◆ 看護大学だより
- ◆ 短大Voices
- 18 ◆ 学生からのメッセージ(川越 智洋・福岡歯科大学 第4学年)
- ◆ 保護者からのメッセージ(上地 智博・福岡歯科大学学生後援会評議員)
- ◆ コラム
- ◆ 編集後記

《Information》

- 裏表紙 ◆ 平成30年度入試日程
(福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学)

《表紙写真》寒さに負けず咲く白椿

本年も
よろしく
お願い
いたします



年頭挨拶



今年もATM(明るく、楽しく、前向きに)

学校法人 福岡学園 理事長

水田 祥代



新年明けましておめでとうございます。
皆さんは、新たな思いを胸に新年をお迎えになられたことと思います。

本年が福岡学園、教職員、学生、同窓生の皆様にとって実り多き良い年になりますよう心から祈念いたします。

昨年は、地域医療の質向上と健康長寿社会実現へのさらなる貢献を果たすため、「福岡看護大学」を4月に開学させ、看護を受ける方一人ひとりの尊厳を保ち、その人らしい最適な暮らし(well-being)を支える看護専門職の育成を開始するとともに、女性の就業環境の改善のため、事業所内保育を主軸に「ぺんぎん保育園」を開園させました。

現在の本学園の最重要課題である医科歯科総合病院の建替えについては、2020年の開院に向け、基本構想に基づいて既に地盤調査・土壌汚染調査を開始しています。本年は建物敷地・患者駐車場確保のためのテニスコート移設、野球場とサッカー場の入替、薬局の移転とともに、新病院のインフラ整備のための電気・給水管・電線の盛替え工事などの準備が進められています。新病院棟のフロア配置については、年末から実施している各部門・診療科等への個別ヒアリングを今後も複数回実施し、基本設計を4月末

までに、実施設計を8月末までに完了する予定です。そして来年1月から本格的な新病院棟の建設に取りかかることとしております。昨年末に開催した「第2回新病院の建替え計画に関する説明会」では、新病院のイメージを理解していただいたと思いますが、「大学病院としての信頼される高度医療に加え、地域に頼られる地域医療センターの役割を担う医科歯科総合病院」となるよう尽力していただきたいと考えております。

また、4年後には福岡学園と福岡歯科大学の創立50周年の大きな節目を迎えることから、昨年発足した準備委員会を中心に、記念ロゴマーク、各種記念イベントの企画、寄付事業、周年史の編纂作業などに着手していきます。さらに、この50周年記念事業の大きな柱の一つに、記念講堂の建設計画があります。新病院開院の後、旧病院跡地に約600名収容の大ホールと中小のセミナー室、レストラン等を完備する予定です。

新病院と記念講堂という大きな建築の事業が続いておりますが、皆さんご存知のように、建築には多額の費用がかかります。この費用については、今まで学園が貯蓄してきた病院建設等資金もありますが、学園の収入は少子高齢社会の中、学納金収入だけでは厳しい状態です。したがって、自らの力で収入を増やしていく必要があります。医科歯科総合病院、口腔医療センター、介護老人

保健施設の収支改善を行うことが必要なのです。診療に関して は昨年後半に訪問歯科センターと内視鏡センターを開設しましたので、この二つのセンターが診療の活性化の契機になればと期待しております。

このように本学園は厳しい時代のなか、長期的な大きな事業を進めつつ、二歩二歩着実に歴史を重ね、教養と良識を兼ね備えた有能な医療人の育成に尽力することで、「入学しやすい大学」ではなく、「学生が学びたい大学」、「学生が意欲を持って学び、卒業生が誇れる母校」に、また、安全で高度な医療を地域社会に提供することによる「健康長寿社会を支える地域の医療・保健・福祉への貢献」という本学園の基本理念の下、今年も山積する多くの課題に迅速かつ意欲的に取り組み、適切に対応してゆきたいと考えております。

それでは本年の重点項目を述べます。

(1) 口腔医学の推進

口腔の健康から全身の健康を守る医療・介護の普及のため、口腔医学教育の更なる充実を図る。また、訪問歯科センターを中心とした在宅患者への対応を強化するとともに多職種連携医療における口腔医学の推進に取り組む。

(2) 教育の質的転換

学修成果の可視化を通じてアウトカム基盤型教育を推進し、医療・保健・福祉ニーズに対応できる高度な専門知識と技術を持った人材の育成に努める。また、共用試験(CBT、OSCE)及び臨床能力試験の全員合格と歯科医師国家試験合格率の向上を目指す。歯科衛生士・介護福祉士国家試験については全員合格を目指す。2021年度の看護系大学院開設に向け準備を進める。

(3) 研究の質的転換

研究ブランディング事業の採択を受け、各大学が全学的研究活動の管理・支援・評価体制の整備を進めるとともに、学園内外の連

携体制を構築し、時代のニーズを先取りした医療・保健・福祉分野における新たな研究領域の創設に努める。

(4) 学生の受け入れ・支援

口腔医療、口腔保健、看護を志向する意欲のある学生を受け入れ、個々の学生ニーズに対応した修学支援システムや主体的学習支援体制の整備・充実を図る。また、学生への経済支援・就職活動支援の拡充に努めるため、学生後援会、学生共済会、同窓会との連携強化を図る。

(5) 社会との連携・貢献

安心安全な医療の場を地域住民に提供するため、2020年度の開院に向け、新病院建替え計画を遂行する。内視鏡センター開設を契機として医科の活性化を図る。また、地方自治体や医療・保健・介護・福祉等の職能団体との連携を拡充し、地域連携プラットフォームを形成するとともに、多職種連携を基盤とした地域包括ケアシステムの構築を支援する。

(6) 組織運営・財務

安定的な組織運営を継続するため、医科歯科総合病院、口腔医療センター、介護老人保健施設の収支改善を図るとともに、短大保健福祉学科については改組を検討する。4年後の福岡学園・福岡歯科大学の創立50周年に向け、募金活動を含め記念事業を企画・推進する。また、財政状況に応じた実効性のある施設マネジメントを推進する。

以上を重点項目といたします。

最後になりますが、教職員の皆様が、医療・保健・福祉の総合学園として本学園が更に発展を遂げるために何をなすべきかということを常に考えながら、今年もATM(明るく、楽しく、前向きに)の精神で、各自の仕事に邁進していただけることを期待して年頭の挨拶といたします。皆さん今年の干支にちなんで、ぜひワンダフルな年にしましょう！

Greetings

協働によつて学園が大きく飛躍する 1年となることを願つて

新年明けましておめでとうございます。

今年のお正月三が日は、たいへん穏やかな天候に恵まれて、教職員の皆様におかれましては、ご家族とともに良い新年をお迎えになったことと思います。

今年の1月ですが、福岡歯科大学6年生の卒業試験を皮切りに、8大学戦略的連携支援事業の学長・学部長会議と口腔医学シンポジウムの開催、福岡歯科大学と福岡看護大学合同での大学入試センター試験の実施、その後は病院機能評価の受審を控え、例年以上に予定の多い新年を迎えました。各部署での皆様方のご尽力、ご協力により、1年の順調なスタートがきれますように、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、平成20年度から福岡歯科大学が代表校となり進めてきました文部科学省・戦略的・大学連携支援事業「口腔医学の学問体系の確立と医学・歯学教育体制の再考」は、この3月で当初計画の最終年度が終了します。これまで口腔の健康から全身の健康を守るという視点で、時代の変化に対応した歯学教育の確立を目指して参りました。その次のステージとして、口腔医学の地域社会への展開を目指して、昨年は福岡歯科大学および福岡医療短期大学ともに、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に申請を行いました。その結果、2大学ともに採択となり、現在事業を開始したところです。

福岡歯科大学 大学長

石川 博之



これらの事業では、高齢者ヘルスプロモーションと地域包括ケアへの口腔医学の展開、口腔機能向上による健康長寿社会の実現を目指して、福岡歯科大学、福岡医療短期大学、福岡看護大学の連携した調査・研究が企画されており、すでにそのいくつかは開始しております。また、学園の地域連携活動におきましても、最近は地域連携センター運営会議を中心に、3大学、医科歯科総合病院、サンシャインシティでの意見交換や活動の連携が進められております。今年は、教育、研究、医療面でさらに連携が進み、学園全体のブランドとして口腔の健康から全身の健康を守る医療・保健・福祉が大きく推進されることと思います。

協働という言葉がありますが、これは複数の主体が、何らかの目標を共有し、ともに力を合わせて活動することをいいます。今年の学園の発展には、まさに協働の考え方が大切になってくると思います。

さて、今年の干支は戌戌ということで、一方では草木が枯れて、一方では草木が生い茂って盛大になるというような、まさに変化の年だそうです。次のステップ、次のステージに移っていくような年ともいわれています。皆様方のお仕事がすばらしいステージに進まれ、またそのことが皆様と学園の大きな飛躍につながる1年となることを願ひまして、年頭のご挨拶といたします。

医科歯科総合病院に内視鏡センター！ 訪問歯科センターを開設 総合医療センターとしてさらに地域医療に貢献

福岡歯科大学医科歯科総合病院では、内科と歯科の総合医療センターとして地域医療に貢献することを目指しており、その一環として、新たに内視鏡センター、訪問歯科センターを開設しました。

内視鏡センターでは通常の消化器疾患の内視鏡検査に加えて、内視鏡治療と内視鏡手術を行います。消化器疾患の早期診断だけでなく、胃、大腸、胆道の内視鏡治療と内視鏡手術をご希望の方はお

気軽に問合せてください。

訪問歯科センターでは、身体的理由により通院が困難な方で、同病院近郊(距離16km以内、車で片道30分程度)にお住まいの方に対して、診療器材を持参して歯科治療や口腔ケアなどの口腔管理を行います。往診は予約制になっており、右記の対象に当てはまらない方についても、相談をお受けいたしますので問合せてください。

新任



内視鏡センター長
教授 池田 哲夫

(略歴)

昭和60年九州大学消化器総合外科(第二外科)に入局。外科医としての修練と同時に研修医時代から消化器内視鏡のトレーニングを受ける機会に恵まれました。肝臓移植の研究で学位を取得しましたが、日本では臓器移植がスタートできない状況だった平成4年、世界でも始まったばかりの内視鏡外科手術を目の当たりにして自分の進む道を決めました。それから20年内視鏡治療と内視鏡外科手術に携わっております。この様な経歴をかついていただき、この度(平成29年11月1日)福岡歯科大学医科歯科総合病院内視鏡センター長(教授)に就任させて頂けたと感じております。

(抱負)

内視鏡は可能な限り体の正常な部分を傷つけずに行う検査です。内視鏡治療や内視鏡外科治療も同様に確実な治療成果と痛みや苦痛の軽減を追求した治療法です。この様な検査と治療を多くの方に身近に感じていただき、病気が進行しないうちに治療できるようお手伝いさせて頂きます。



訪問歯科センター副センター長
講師 牧野 路子

(抱負)

通院できない要介護高齢者の方を中心に、お口の健康を支えていきたいと思っています。また、地域の様々な職種の方と連携して、包括的なケアを目指していきます。



訪問歯科センター長
病院教授 森田 浩光

(抱負)

訪問歯科センターでは、従来の在宅や介護施設に在居の方だけでなく、急性期病院や回復期病院からの歯科診療・口腔ケア依頼など、様々なニーズに当院専門診療科の協力体制のもと対応いたします。お気軽にご相談ください。

お問合せ

福岡歯科大学医科歯科総合病院 TEL:092-801-0411
内視鏡センター(内線203) 訪問歯科センター(内線347)



都市再生機構 九州支社との 連携協力に関する 協定を締結

平成30年1月18日、福岡学園ならびに福岡歯科大学、福岡看護大学および福岡医療短期大学と、独立行政法人都市再生機構九州支社(以下UR都市機構と略)との包括連携協定締結の調印式が行われました。この協定は、福岡学園の三大学がUR都市機構と包括的に連携し、地域住民の健康福祉の増進、持続可能なコミュニティ形成、地域の活性化等に資することを目的とするものです。

今後は、まずUR都市機構の団地において、地域住民の健康福祉の増進に資する連携取り組みを開始する予定です。

福岡歯科大学長に高橋裕教授が就任

たかはし ゆたか

2017年12月19日開催の第

518回理事会の議を経て、福岡歯科大学の第11代大学長に、高橋 裕有床義歯学分野教授が就任しました。1973年の福岡歯科大学開学以来、卒業生で初めての就任となります。なお、任期は2018年2月1日より3年間です。高橋新学長に抱負をお聞きました。



【略歴】

1981年に福岡歯科大学歯学部を卒業、1989年歯学博士を取得し、福岡歯科大学助手、講師、助教授を経て、2003年3月に福岡歯科大学有床義歯学分野教授に就任し、現在に至る。福岡歯科大学医科歯科総合病院副院長、福岡歯科大学学生部長、学校法人福岡学園（旧福岡歯科学園）評議員などを歴任。福岡県出身。62歳。

夢が実現する大学、人を育てる大学

2018年2月1日付で第11代福岡歯科大学長に就任を致しました高橋 裕です。福岡歯科大学は西日本唯一の私立歯科大学であり、創立45周年が過ぎ4300名以上の卒業生を輩出しています。この福岡歯科大学の大学長を務めさせていただくことは光栄であり、責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。

私は1975年に福岡歯科大学の3期生として入学しました。卒業後は本学に残り、助手、講師、助教授を経て、2003年から咬合修復学講座有床義歯学分野の教授を務め、主に有床義歯補綴学の教育、診療、研究に携わってきました。

入学から現在までの43年間、私は福岡歯科大学を見てきました。この間いろいろな事がありました。良い時もあり、つらい時もありました。今日の私立歯科大学は少子化、歯科医師需給問題等で大変厳しい状況にあります。しかし、このような時代だからこそ、本学は社会から信頼される大学として将来に活路を見いだす必要があります。

本学には、素直で優しい学生が昔から多いように感じています。このような学生を穏やかな学生に育て、その学生に歯科医学の専門教育をして有能な歯科医師に育てたいと思っています。そして、多くの歯科医師を本学から送り出すことができれば、福岡歯科大学は学生にとって「夢が実現する大学」になります。また、教員は皆さん教育熱心で協力的です。いろいろ工夫をしながら教育し学生と接しています。学生を、医局員を、後輩を教え育てる「人を育てる大学」にしたいと思っています。

来る2022年には福岡歯科大学は創立50周年を迎えます。現在、福岡歯科大学医科歯科総合病院の建替え準備中で2020年秋に新病院の開院を予定しており、「福岡学園福岡歯科大学創立50周年記念講堂（仮称）」も2022年完成に向けて計画中です。大学はこれからも発展を続け、歯科医学を通じて社会に貢献できる大学であり続けるように努めます。どうぞよろしくお願い致します。

石川前福岡歯科大学長が常務理事に

2018年1

月の理事会の議決により、1月末に任期満了となった石川博之前福岡歯科大学長が、2月1日付で常務理事に就任されました。同氏は、2000年11月に福岡歯科大学教授に就任後、同大学医科歯科総合病院長、学校法人福岡学園（旧福岡歯科学園）理事・評議員等を歴任し、2015年2月から福岡歯科大学長を務められました。



北村憲司常務理事が福岡医療短期大学長専任に

2017年4月から福岡医療短期大学長兼務であった北村憲司常務理事が、2018年2月1日から福岡医療短期大学長専任となり、同大学の発展のためご尽力いただくことになりました。



文部科学省「平成29年度私立大学研究ブランディング事業」における支援対象校に選定 口腔機能の維持・向上による健康持続社会の実現を目指す

この度、福岡歯科大学・福岡医療短期大学が、文部科学省が実施している「私立大学研究ブランディング事業」の支援対象校にそれぞれ選定されました。同事業は、学長のリーダーシップのもと、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取組を行う私立大学に対し、施設費や装置費、設備費と経常費を一体的に支援し、各大学の特色化・機能浄化を促進しようとするものです。福岡歯科大学および福岡医療短期大学が選定されたタイプA（社会展開型）は、「地域の経済・社会・雇用、文化の発展や特定の分野の発展・深化に寄与する研究」を対象とするもので、123校の申請に対して選定されたのは33校でした。

今後、両大学ともに全学的な事業推進体制の下、教育・研究の推進と成果の発信に取り組んでいきます。

福岡歯科大学

- **事業名** 高齢者ヘルスプロモーションと地域包括ケアへの口腔医学の展開
～要介護化阻止と誤嚥性肺炎ゼロを目指して～

- **事業概要**

福岡歯科大学は全身の健康を守るために歯科医療を展開する「口腔医学」の理念のもと、歯学教育を改革してきました。本事業では、この「口腔医学」を大学近郊の高齢化の進む地域に展開し、口腔機能の維持・向上によって認知機能の維持をはかり、要介護化の阻止、誤嚥性肺炎の予防および高いQOLを達成します。社会的・教育的・再生医学的の3つのアプローチにより、地域に「口腔医学」を基盤とする保健・医療・介護を推進します。

福岡医療短期大学

- **事業名** 口腔機能向上でイキイキ長寿社会の実現
—話そう・食べよう・いつまでも—

- **事業概要**

口腔機能向上からの栄養改善、運動機能および社会資源創出に関する教育研究を基盤として、健康寿命の延伸につながる研究を推進します。これらの研究成果を、卒前・卒後教育における人材育成、地域住民主体のコミュニティ形成支援、および学術発表等の学会活動を通じて、ステークホルダーとの協働・評価・協力体制を構築し、地域社会に還元することによって、口から支える健康長寿社会の実現を推進するブランディング事業を展開します。

福岡医療短期大学 第1回地域公開講座「健康(口)体操でイキイキ長寿」を開催

平成29年12月23日、福岡医療短期大学1階コミュニティホール1において、平成29年度私立大学研究ブランディング事業の一環として福岡医療短期大学第1回地域公開講座「健康(口)体操でイキイキ長寿」が開催されました。46名の参加者に対し、家庭などで簡単にできる効果的な健康体操や口腔機能を維持向上させる健口体操について紹介しました。



「研究ブランディング事業キックオフシンポジウム」を開催

平成30年1月22日、福岡歯科大学502講義室において、「福岡歯科大学・福岡医療短期大学 研究ブランディング事業キックオフシンポジウム」が開催されました。同事業の一部については既に開始されておりましたが、今回の採択を機に改めて同事業のキックオフとして同シンポジウムを実施したものです。同日は、両大学および福岡看護大学から多数の教職員が参加し、両大学のブランディング戦略について共有することができ、さらに理解を深めることができました。



1 Campus News

医科歯科総合病院 建替え委員会が発足

福岡歯科大学医科歯科総合病院の老朽化に伴い、同病院の建替えにかかる基本構想策定、設計、施工等の整備計画を円滑に推進するために、福岡歯科大学医科歯科総合病院建替え委員会（委員長／水田祥代理理事長）を設置しました。今後、目指すべき診療機能のあり方や整備の基本的な方向性等をまとめ、2020年10月の新病院開院を目指します。

2 Campus News

「50周年」に向け 準備委員会が発足

2022年に学校法人福岡学園・福岡歯科大学は創立50周年を迎えます。記念すべき創立50周年記念事業を行う準備組織として、学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念事業準備委員会（委員長／水田祥代理理事長）が、理事長をはじめ教職員および同窓会役員からなる12名の構成員によって発足しました。今後、記念式典・祝宴、周年史編纂、学生・同窓生イベント、募金施設整備等、創立50周年を盛り上げていくことを目的に、さまざまな事業を企画・運営してまいりますので、ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

3 Campus News

中国の提携大学から学生訪問団が来学

○中国医科大学口腔医学院

平成29年10月8日から15日までの8日間、中国医科大学口腔医学院の学生訪問団が来日し、福岡歯科大学を訪れました。中国医科大学口腔医学院とは平成25年3月に姉妹校協定を結び、教員学生の交流活動等を通じて協力関係を育んでおり、学生訪問団受け入れは、今回で5回目となります。

今回の訪問団は、薛教授、白副教授ならびに学生5名の計7名が来学されました。5名の学生は病院にて実習に参加するとともに、基礎系講座を見学しました。来学した学生は興味を持って実習に参加し、積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。また、引率の薛教授、白副教授による本学の大学院生等を対象とした特別講義も行われました。

○上海交通大学口腔医学院

平成29年11月12日から17日までの6日間、上海交通大学口腔医学院の学生訪問団が福岡歯科大学を訪れました。同訪問団の来学は、平成18年から毎年行われ、今年度で11回目になります。

今回の訪問団は、宋教授、陆助教、学生5名の計7名が来学されました。5名の学生は、歯周病科、補綴科、口腔外科等の病院実習に参加し、口腔医療センター（博多区）の見学も行いました。また、一行は太宰府観光等を通じて福岡の歴史にも触れ、充実した6日間を過ごしました。



第13回 健康まるごと福岡学園

平成29年10月21日、22日の2日間、福岡学園の総合イベント「健康まるごと福岡学園」が開催され、約1800名もの方々にご参加いただきました。

学生主体の学園祭「田の歯科祭」は、地域の子どもたちによるダンスや学生のミュージックライブに加え、お笑いコンビ「アンガールズ」ととんちちゃん・ふじ子、「ガンネン」の登場するお笑いライブで盛り上がりました。2日目は台風21号の接近に伴い、プログラムを変更し、恒例のビンゴ大会は会場を屋外から福岡歯科大学本館9階講堂に変更し行いました。

福岡歯科大学では、教員主体イベント「からだの科学展」において、科学体験型ブースの出展やお口と全身の健康に関するポスター展示がされたほか、学生ボランティア「おはなし隊」の絵本イベントもありました。また、福岡医療短期大学企画「口から始める介護予防」では、子どもたちへの歯磨き指導や介助犬の紹介などが行われました。

医科歯科総合病院では、「**歯科無料相談**」と身近な病気などをテーマにした「**医科ミニ講座**」が行われました。

今回初参加となる福岡看護大学では、「**『看護の世界』知って試そうNursing☆**」が行われ、骨密度測定や栄養食品の効果を紹介しました。

介護保険施設サンシャインシティとサンシャインプラザでは「**介護施設見学・介護無料相談**」に加えて、コミュニティスペース「かふえもりのいえ」をオープンし、訪れた方々にお茶を楽しんでいただきました。

両日とも地域の皆さんに、健康長寿社会を目指し福岡学園が提唱する口腔を通じて全身の健康を守る「**口腔医学**」について理解を深めていただく良い機会となりました。

歯科無料相談



医科ミニ講座



介護施設見学・介護無料相談



からだの科学展



学園祭「田の歯科祭」



短大企画「口から始める介護予防」



たくさんのご来場
ありがとうございました！

「看護の世界」知って試そうNursing☆



Campus News
4

地下鉄七隈線沿線 三大学連絡協議会関連行事を開催

○地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム

平成29年10月22日、福岡歯科大学本館9階講堂において、「地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム」が開催されました。このシンポジウムは、中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学の三大学の共催で、市民の健康づくりを目指して実施しており、今回で13回目の開催を迎えました。

今年度は「微生物の力を借りて健康になる」というメインテーマのもと、各大学の講師がそれぞれ特色あるテーマで講演を行い、福岡歯科大学からは廣藤卓雄教授（総合歯科学分野）が「お口の健康と乳酸菌」と題した講演を行いました。当日は地域の方や大学関係者を中心に約160名の方々にご参加いただき、来場者の健康に対する意識の高さがうかがえました。

○10周年記念講演会

平成29年12月4日、福岡歯科大学本館8階803講義室において地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会10周年記念講演会が行われました。同協議会は、三大学が連携協力して、教育研究活動の充実ならびにその成果を広く地域に公開し、地域社会との協力関係を構築することを目的として平成19年に発足し、この度、10周年を記念して講演会を開催しました。

福岡歯科大学からは小島寛教授（障害者歯科学分野）が「口腔医学教育と地域における活動」と題した内容で講演し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



Campus News
5

医科歯科総合病院で 大災害時対応訓練を実施

災害に強い安心安全な病院づくり

平成29年10月30日、福岡歯科大学医科歯科総合病院で病院職員が参加して大災害時対応訓練が行われました。訓練は、震度6強の大規模地震により同病院が被災したという想定で行われ、病院災害対策室を設置し、患者の避難誘導・救援担送、トリアージによる緊急度・重症度を判定した後に治療を行うなど、非常事態時における一連の流れを確認しました。また、非常電源・医療物品等の確認や避難場所予定地にて簡易トイレの組立訓練を行い、参加者は災害時の対応に対する意識を高めました。

※負傷者を重症度、緊急度などによって分類し、治療や搬送の優先順位を決めること



▲簡易トイレの組立実演



▲トリアージポストで医師が患者の重症度・緊急度を判定



Campus News
6

福岡看護大学
公開講座を初開催

介護に対する不安を払拭

平成29年11月15日、福岡看護大学1階101講義室において、開学後初めての福岡看護大学公開講座「知って得する介護保険あれこれ」今日から始める介護予防」が開催され、学内外から約100名の方に参加いただきました。

まず角森輝美教授（地域・在宅看護部門）が、平成30年に改正となる介護保険制度のポイントや制度の利用方法、そして介護の受け方などを実演を交えながら紹介。続いて、森中恵子准教授（地域・在宅看護部門）が、バランスの良い食事を摂るために参考となる四群点数法や介護予防につながるストレッチ体操などについて講演しました。

講演後には疑問・質問のコーナーが設けられ、講師の回答に傾く参加者の姿が見られました。



Campus News
7

福岡歯科大学
学会総会・学術大会

多職種連携を見据えた学術大会

平成29年12月3日、第44回福岡歯科大学学会総会・学術大会（会長／廣藤 卓雄 総合歯科学分野教授）が、福岡歯科大学 本館9階講義室、その他講義室等で開催され、学内外から多くの参加がありました。『口腔医学を加速する』をテーマとした今大会では、松尾浩一郎先生（藤田保健衛生大学医学部歯科・口腔外科教授）による「口腔機能低下症の新基準と今後の展望」と題した基調講演のほか、シンポジウム、歯科衛生士シンポジウム、一般口演・ポスター発表が行われました。

なお、今回の学会賞には馬場篤子氏（成育小児歯科学分野 講師）と宮崎揚子氏（補綴（入れ歯）科 医員）が選ばれました。



Campus News
8

口腔医学シンポジウム
学長・学部長会議開催

歯科医療・教育の最前線をアピール

平成30年1月6日、福岡看護大学1階101講義室において、口腔医学シンポジウム「『口腔医学』―歯科の将来像―」が開催されました。

この度のシンポジウムは、平成20年度に採択された文部科学省 戦略的大学連携支援事業の総括ともなるもので、前半の基調講演では、文部科学省高等教育局医学教育課企画官 眞鍋 馨氏と厚生労働省医政局歯科保健課長 田口 円裕氏のお二人にご講演いただきました。また、後半のシンポジウムでは、九州大学大学院歯学研究院 山下喜久教授、福岡歯科大学医科歯科総合病院 森田浩光病院教授、福岡歯科大学障害者歯科学分野 小島 寛教授が最新の知見成果を紹介し、今後の口腔医学の発展について討論が行われました。当日は、約160名が参加し、口腔医学への理解を深めました。

また、シンポジウムに先駆けて「第13回連携大学学長・学部長会議及び戦略連携事業実施担当者会議・合同会議」を同大学会議室にて開催し、今年度の事業実績の報告等が行われました。



教員紹介

《福岡歯科大学》

●機能構造学分野

昇任



教授 はたけやま ゆうじ
畠山 雄次

（略歴）東北大学歯学部卒業、東北大学大学院歯学研究科修了。東北大学小児歯科学講座助手、アメリカ国立衛生研究所博士研究員、東北大学大学院小児発達歯科学分野助教、福岡歯科大学機能構造学分野助教、同分野講師、同分野准教授等を経て平成29年10月1日、同分野教授に昇任。博士（歯学）。

（抱負）人体の複雑な構造の素晴らしさを伝えるとともに、明快簡潔な講義、実習を通して、学生が得た知識を統合体系化し主体的に学習できることを目指しています。また基礎的研究により歯科臨床の発展に貢献してまいります。

●感染生物学分野

昇任



教授 ちよう たまき
長 環

（略歴）九州大学農学部卒業。九州大学大学院農学研究科修了。英国アバディーン大学マースフィールド校医真菌分子生物学分野に留学。福岡歯科大学口腔細菌学講座助手、同講座講師、助教を経て平成30年1月1日、同大学感染生物学分野定員外教授に昇任。歯学博士。

（抱負）超高齢社会および超高度化医療時代をよく理解し、歯科医師としてどうあるべきかという意識を育てる学生教育になるよう、微力ながら頑張りたいと思います。

●眼科学分野

昇任



講師 やわた のぶ よし
八幡 信代

（略歴）横浜市立大学医学部卒業。横浜労災病院眼科医員、横浜市大医学部眼科助手等を勤めた後、スタンフォード大学医学部構造生物学リサーチアソシエイト、シンガポール臨床医学研究所シンガポール国立眼科研究所Clinician, Scientist-Duke-NUS Medical School Assistant Professorを勤め、福岡歯科大学眼科学分野助教を経て平成29年11月1日より同分野講師に昇任。博士（医学）。

（抱負）一般眼科診療に加え、眼炎症性疾患の診療に力を入れていきたいと思っています。知識の詰め込みに限らず、基本的な概念の理解と幅広い視野を持つて考える力を養う教育を心がけたいと思います。研究面ではヒト免疫を中心に診断や治療の開発に努めていきたいと思っています。

●機能構造学分野

昇任



講師 きたがわ のり お
北河 憲雄

（略歴）長崎大学歯学部卒業。九州大学大学院歯学府修了。九州大学大学院特別研究員、福岡歯科大学機能構造学分野助教を経て平成29年12月1日より同分野講師に昇任。博士（歯学）。

（抱負）学生の個性に合わせ、解答力、応用力の向上に繋がる教育に努めていく所存です。また、独自性のある研究を活性に行っていきたいと考えております。よろしくお願いたします。

新評議員紹介

平成30年1月22日に開催された理事会において平田雅人氏が評議員に選任されました。任期は平成32年8月2日までです。

（略歴）九州大学歯学部卒業。同大学大学院歯学研究科基礎歯学専攻修了。同大学大学院歯学研究科教授、同大学アイソトープ総合センター長、同大学主幹教授、同大学教育研究評議員、同大学大学院歯学研究科院長・歯学部長・歯学部部長等を経て平成29年4月1日、福岡歯科大学客員教授に就任。歯学博士。



評議員 平田 雅人

福岡医療短期大学保健福祉学科長に大倉義文氏を再任

福岡医療短期大学保健福祉学科長に、大倉義文教授が再任されました。任期は平成29年12月1日から3年間です。



染矢 廣美評議員ご逝去

学校法人福岡学園の染矢廣美評議員が平成29年11月7日に逝去されました。同氏は、昭和53年12月に本学園評議員に着任され、学園の発展のために約39年間尽力されました。享年90歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。



充実した日々、いろいろ。学園の様々な出来事をピックアップしてご紹介！

EVENTS RECORD

【イベントレコード】

2017年10月

- 12日 献体者慰霊祭・実験動物慰霊祭
- 14日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 21・22日 第13回健康まると福岡学園
- 22日 第13回地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム(於:福岡歯科大学)
- 31日 熊本県立八代清流高等学校 学校見学

2017年11月

- 10日 福岡歯科大学大学院特別講義(理化学研究所バイオリソースセンターチームリーダー 権藤 洋一氏、同センター開発研究員 牧野 茂氏)
- 11日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 12~17日 上海交通大学学生訪問団来学
- 15日 福岡歯科大学第6学年激励会
- 24日 平成29年度福岡看護大学公開講座 福岡歯科大学大学院特別講義(ヘルシンキ大学名誉教授 Irma Thesleff氏)

2017年12月

- 3日 第44回福岡歯科大学学会総会・学術大会
- 9日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 10日 サンシャインシティクリスマス・忘年会
- 19日 福岡医療短期大学保健福祉学科2年次生激励会
- 21日 ぺんぎん保育園クリスマス会
- 23日 福岡医療短期大学 第1回地域公開講座 サンシャインプラザ忘年会
- 26・27日 福岡歯科大学 入学前教育第1回勉強合宿 福岡看護大学 入学前教育講義
- 28日 餅つき

2018年1月

- 4日 年頭挨拶
- 6日 平成29年度 口腔医学シンポジウム(於:福岡看護大学)
- 13日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 18日 都市再生機構九州支社との連携協力に関する協定調印式
- 22日 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 研究ブランディング事業 キックオフシンポジウム
- 28日 第30回介護福祉士国家試験(筆記試験)

EVENTS CALENDAR

【イベントカレンダー(今後の予定)】

2018年2月

- 3・4日 第111回歯科医師国家試験
- 11~13日 福岡歯科大学 入学前教育第2回勉強合宿
- 16日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 20日 福岡歯科大学共用試験CBT
- 25日 福岡歯科大学共用試験OSCE

2018年3月

- 4日 第27回歯科衛生士国家試験
- 10日 福岡歯科大学卒業式
- 13日 福岡医療短期大学卒業式
- 15・29日 福岡医療短期大学オープンキャンパス
- 17~19日 福岡歯科大学 入学前教育第3回勉強合宿
- 19日 第111回歯科医師国家試験合格発表
- 28日 第27回歯科衛生士国家試験合格発表 第30回介護福祉士国家試験合格発表

2018年4月

- 3日 福岡看護大学入学式
- 6日 福岡歯科大学入学式
- 9日 福岡医療短期大学入学式
- 4日 福岡看護大学新入生研修会
- 13・14日 福岡歯科大学新入生研修会 福岡医療短期大学新入生研修会



献体者慰霊祭



福岡医療短期大学保健福祉学科2年次激励会



サンシャインシティ クリスマス・忘年会



餅つき

福岡歯科大学学生研修センターを改修

平成29年10月から環境整備のために行っていた学生研修センターの改修工事が終了しました。これにより中庭外壁が再塗装され明るい装いに一新し、建物内の照明機器が更新されました。また、各居室の学習机・椅子・レースカーテン・IHコンロ・シャワーヘッド・LED照明も新調されました。



ぺんぎん保育園 クリスマス会を開催



平成29年12月21日、ぺんぎん保育園において開園後初めてとなるクリスマス会が開催されました。園児たちは、クラスごとにクリスマスに関するお遊戯を披露したり、クリスマスソングを歌ったりして、皆で楽しい時間を過ごしました。また、サプライズで登場したサンタクロースから一人ひとりプレゼントを受け取り、とても喜んでいました。



学術講演会報告

「歯科医師が知っておきたい肝炎ウイルスの基本」講習会開催

福岡歯科大学

鹿児島県同窓会長

要 光 (11期生)

肝臓疾患について勉強したのは学生以来ほとんどないという方、多いのではないのでしょうか。私(11期)は、卒業して29年になりますが、29年間きちんと肝臓疾患について勉強したことがありませんでした。大学の同級生で佐賀大学で教鞭をとっている長尾由実子教授は、「肝臓から口腔を考える、口腔から全身臓器を考える」ということを続けてきた人です。平成29年3月に、毎年恒例の九州歯科大学鹿児島県同窓会と本学鹿児島県同窓会の合同研修会で、長尾教授をお招きし、肝臓疾患と口腔の関係についてご講演いただきました。卒業以来、肝臓疾患について勉強してない私は、いえ、その場に参加したほとんど全員が、これまでの不勉強さに驚き、この話を多くの人に聞いてもらいたいとの想いに駆られました。

そこで、九州歯科大学鹿児島県同窓会と本学鹿児島県同窓会が合同で、鹿児島県の歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士を対象に、平成29年9月3日、長尾教授に再度、講演していただきました。

講演では、「歯科の関係者の中に、C型肝炎の患者のみに過剰な感染対策をする方がいる。より多くの歯科関係者に肝炎の最新情報、最新治療を知ってもらう必要がある。C型肝炎は、現在、完治する病気であるが、感染していることを知らない方も含めC型肝炎患者が100万人いる。扁平苔癬が、肝外病変だということを知っていると、肝炎の治療勧奨につながる。C型肝炎患者の状況を打開できるのは歯科医師である。」といった内容で、参加された多くの方から、この講演を聞いてよかったという言葉が聞かれました。



平成29年9月3日
鹿児島県歯科医師会館での講演



平成29年3月 九州歯科大学鹿児島県同窓会・福岡歯科大学鹿児島県同窓会合同研修会にて

同窓生
からの年紙

歯科医療の 発展を担って

福岡歯科大学同窓会副会長

高嶺 明彦 (6期生)

本学は、昨年で創立45周年を迎え、4,357名という数多くの卒業生を輩出して参りました。また、本年2月1日より3期生の高橋 裕先生が母校の歯科大学長に同窓生として初めて就任されました。大変喜ばしい事です。

更には、九州8県のうち、寺尾隆治佐賀、長尾博通大分、宮口厳長崎の各県歯科医師会会長を同窓生が務めています。さらに、神田晋爾福岡市歯科医師会会長をはじめ、ここに書き切れないほどの多数の同窓生が、各県歯科医師会の重要な役職に就いています。すなわち、各地域における歯科医療の充実、発展のためにたくさん同窓生が、市民・県民・国民の期待を担って活躍しているのです。

同窓会としては、誠に喜ばしい限りであり、誇りに思っています。これからも、全国の同窓生が、日本の歯科医療の発展のために、歯科医師会、学術、臨床、という各々の分野において、獅子奮迅のご活躍をされることを期待して止みません。

今、歯科医療界は、大きな曲がり角を迎えようとしています。学閥に囚われることなく、謙虚に、しかし強力に、歯科界を牽引する同窓生が増えてくると思っています。そして、同窓会は、母校の発展のために全力を傾注すると共に、すべての同窓生の皆様の活躍に、心からのエールを送り、支援いたしたいと考えています。

クリニックからこんにちは!

Hi! From Clinic

試される一年、多くの人への感謝の毎日

廣田 正毅(27期生)



こんにちは。27期生の廣田正毅と申します。平成17年に卒業し大学の歯周病科・一般歯科に勤務し、父と弟のクリニックと此処まで多くの方に支えて頂き現在に至ります。気付けば歯科医師になって12年。最近では参加した講習会でも私より若いドクターが多いことも増えてくる年齢になってきました。それでも、学べば学ぶほどに歯科の世界は奥深く未熟を感じる毎日です。

そんな中、平成29年の1月に小さい頃から馴染みのある福岡市南区長丘の地で開業を致しました。地元での開業は同級生や幼稚園の先生など、お会いすることができ、改めて此処まで多くの人に支えてもらっていた事をより実感致しました。

開業以来、予想外な出来事に見舞われる事もしばしばありました。その度に「生懸命だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、この言葉通りに良いアイデアが出るまでスタッフと日々、話し合いPDCAサイクルを回し続けなんとか一年乗り越えてきたように思います。クリニックが地域に何を求められている?目の前の患者さんは一体、どうなりたいのか?これから毎日、試行錯誤、切磋琢磨しここまで支えてもらった分の恩返しを少しでもも行っていきたいと思っています。

卒業生
NOW

「同期会のすすめ」

向坊 重広(16期生)

こんにちは。16期卒の向坊重広です。平成5年に大学を卒業後、ラグビー部に在籍した縁もあり母校の口腔外科学講座で12年ほどお世話になりました。その後、地元北九州の八幡で親子継承にて歯科医院を引き継ぎ、10年になろうとしています。我々が学生の頃は5年生から約1年間にわたって臨床実習がおこなわれていました。当日の課題をこなせない場合、講座によってはかなり遅い時間まで実習室にこもり、その流れで居酒屋に直行するなんて日も多くありました。時にはさまざまな講座の先生を交えてあちこちの実習グループで頻りに催される軽い宴のなかでお互いを叱咤激励?しながら、何とか臨床実習が終了。その後も対卒業試験、対国家試験として宴は形を変えながら継続。この慣習は卒業の際まで続き、このいろいろなグループの集まりをまとめて継続したいと数名の音頭で同期生の会が発足しました。

1988年に入学し、学籍番号88で始まる期、88会と命名され、少ない年で20名弱、多い年では50名程度、現在まで毎年欠かすことなく続いています。

卒後20数年を経て50歳近くになり、周囲の環境も落ち着いてくると元来の性格である自分に甘い(ぬるま湯に浸かりたくなる)性格が顔を出し、仕事や趣味に持つていたはずの熱い気持ちも冷めてきます。そんな中で毎年開催される88会で同期生がさまざまな趣味を満喫し、仕事への情熱も維持して人生を謳歌している姿を拝見し、杯を酌み交わすことで一時でも自分に活を入れることができます。また同年代で同業なために悩みも似たり寄ったりで良きアドバイスをもらうことも多々あります。この度第24回の88会が地元の北九州で開催されました。これからも続くであろうこの会で私も同期生の励みとなる将来を夢見ながら、自分の人生を務めていきたいと思います。同窓生の皆様方にも健康に留意し、ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。



看護大学 だより

#4

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します!



「健康まるごと福岡学園」が10月21日(土)、22日(日)に開催され、福岡看護大学も初めて参加しました。この学園祭は、学園内の3つの大学、各施設が合同で実施し、学生企画のみならず、学際的な教員企画による催しもあるユニークなものです。また、地域の方々と交流や社会貢献の意味合いが大きいという特徴を持っています。学生企画では、一般的な学園祭とは異なる位置付けに戸惑うことも多かったようですが、指導してくれる先輩もいない中、学生同士で支えあつて「シャカシャカポテト」の調理・販売を行い、いい経験を積んでくれたことと思います。一方、学生のためにと次から次へと購入し、当分ポテトは食べなくていい、というスタフが続出しました。

教員企画では健康管理の一環となる血圧測定や簡易骨密度測定をメインに行い、子どもが楽しめる「わくわく探検隊」も準備しました。お目当ての風船を探す子どもたちが笑顔で走り回る横で、真剣に健康チェックする大人の姿が有り、ピアノの音色も加わって、にぎやかな空間となりました。地域に根差し、そして開かれた大学としての第一歩となったことを願っています。

(大久保つや子・寒水章納)



短大 Voices #4

夢を叶える場所
「福岡医療短期大学」
多くの出会い・絆を生んでいる
短大の情報をお届け!



九州中央病院 歯科口腔外科
歯科衛生士
前東 絢子(17期生)

「後悔をしない」学生生活を

みなさん、こんにちは。私は歯科衛生士国家試験合格後、さらに詳しく疾患や顎顔面について専門的に勉強したいと思い専攻科に入学し、口腔外科を勉強しました。そして平成29年に卒業し、現在は、公立学校共済組合 九州中央病院 歯科口腔外科に所属しています。

歯科口腔外科では、堀之内歯科口腔外科部長をはじめとする歯科医師4名、歯科衛生士6名、歯科技工士1名で診療しています。日々の診療はとても大変で、自分の至らなさを感じておりますが、充実した毎日を送っております。

私が卒業試験、歯科衛生士国家試験を経験して思うことは、その場しのぎの勉強ではなく、全ての教科を関連付けて幅

広く勉強を行うことが、とても大切であるということです。また、区切りやメリハリをつけて勉強すると集中できて、勉強の効率も上がるので参考にしてみてください。

後輩のみなさんに私がメッセージを送るとすれば、歯科衛生士になる道を選んだのであれば「もう無理」と始めから自分に壁を作らないこと。また、学生のうちに失敗はいくらでもしても構いませんが、「あの時しておけば…」と後悔をしてほしくないと私は思います。

最後に、「あの時頑張つてよかった」、「あの時あきらめずにいたから、立派に合格して歯科衛生士になれて良かった」と思えるように、勉強に励み、充実した学生生活を過ごしてください。

学生からのメッセージ

裏方

川越 智洋

(福岡歯科大学 第4学年)

皆さんは「PA」という仕事を知っていますか？「Public Address」の略で、コンサートやイベントで音響機材の操作をする裏方の事です。私は中高時代、軽音楽部に所属し、PAとして文化祭やコンサートに携わってきました。ステージの裏側では様々なトラブルが発生しており、リハーサルだけでは想定できなかった事も起こっています。イベントやコンサートは時間が限られており、その中でできる事を最大限やらなければなりません。今までPAの現場で多くのトラブルに逢い、悔しい思いをした事がたくさんありました。



この度、田の歯科祭実行委員長を務めさせて頂きました。ところが今回の田の歯科祭は、当日、台風の影響で様々なプログラムの変更に見舞われました。何よりも苦労したのは、ステージ企画に出演して頂く複数の出演団体へ連絡をし、出演時間や順番の調整をすることでした。全ての団体の皆さまが出演できるよう尽力しましたが、それが叶わなかったのが大変心残りです。その最大限の対応に、PAとしてのトラブルを乗り越えてきた経験が大きな力になったと感じています。この先、もっと重要な事で迷ったり大きな決断をしたりしなければならぬ時に、この経験が少しでも活かされれば良いと思います。

将来は、患者さんが大きな笑顔で楽しく喋れて、幸せにご飯を食べることを支えられる、裏方でありたいと思います。

保護者からのメッセージ

歯科医療の目標とは？

上地 智博

(福岡歯科大学学生後援会評議員)

開業して、早や32年が経った。開業して間もない頃、東京の某センターで研修を受講した時のことである。

初日講義の冒頭



に、講師の先生から「歯科医療の目標は何ですか？」と問われ「良い歯科治療をすること」と答えた。そこで講師の先生は、「歯科医療を通して、口腔を健康にして、さらには心身とも健康にしてあげること」と言ったのである。口腔を健康にすることは出来ると思っただが、心身とも健康にしてあげる、ということは何だろうか？と理解できなかった。

いわゆる、患者さんが歯科医療で、口腔は健康になったとしても、不快な気持ちがあるとすれば、心身とも健康とは言えないとのことである。たとえば、心を満足させるためには、患者対応が大切であり、すべてのスタッフが同じ目標を実践することで、心が気持ち良いと感じて、心身の健康に繋がるということであつた。

その後、歯科医療の目標を理解できてからは、スタッフを認識し理解することにより良い環境作りを目指した。それによつて、スタッフみんなが患者さんの口腔の健康、さらには心身まで健康にすることを実践できるようになったのである。

New Sophia
コラム

背振の峰によせて

背振山の山肌を雪が滑らかに覆っています。校歌に唱われている峰ですが、こちらに着任して約1年、四季折々の背振の姿を見る事が出来ました。まさに霊峰という名にふさわしいものです。山に性別があるのなら女神だと思つたのですが、何となく調べてみますと弁天様の逸話が出てきて納得いたしました。ある日、弁天様が英彦山で目にされた石楠花に心奪われて、天馬に乗つて二たびこれを持ち帰ろうとするも、天狗に阻まれてしまいます。石楠花は麓に落ちて根付き、花を咲かせるようになったとか。弁天様の匂うように白い御手からシャクナゲは、雪残る地上に、うす桃色の紗のように幾重にも広がって舞い落ちたことでしょうか。惜しげに振り返られたという女神の振る舞いも人のようで、何か愛おしく感じられます。

窓ガラスの外はしんと冷たく、冬の背振は無音の美に包まれています。

(岡すがこ)

編集後記

本号記事の戦略的大学連携支援事業の10年間の集大成である口腔医学シンポジウム開催、私立大学研究ブランディング事業への歯科大・医療短大ダブル選定、さらに医科歯科総合病院の建替え、そして創立50周年記念事業へ…。編集作業の合間に、学園のこれまでの歴史から将来へと続く歩みの真只中に私たちがいることを何度も実感させられた一号となりました。(KS)

Information

お知らせ

平成30年度 入学試験日程

福岡歯科大学

口腔歯学部					
区分	一般入試A日程	センター試験利用入試I期	一般入試B日程	センター試験利用入試II期	AO入試II期
募集定員	約47名	約5名	約12名	約2名	約2名
願書 受付期間	H30.1.4(木)～1.31(水)		H30.2.1(木)～2.28(水)		H30.3.1(木) ～3.16(金)
試験日	H30.2.3(土)		H30.3.4(日)		H30.3.21(水)
合格発表日	H30.2.7(水)午後5時		H30.3.6(火)午後5時		H30.3.22(木)
試験会場	福岡歯科大学・東京試験場		福岡歯科大学		
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp ●E-mail nyushi@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話及びスマートフォン用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col/deviceselect.html				 ▲携帯電話からの アクセスは こちらから!

※学士等編入学試験については、福岡歯科大学学務課入試係までお問合せください。

福岡看護大学

区分	一般入試A日程	センター試験利用入試I期	一般入試B日程	センター試験利用入試II期
募集定員	約50名	約5名	約5名	約3名
願書 受付期間	H30.1.9(火)～1.29(月)		H30.2.13(火)～2.28(水)	
試験日	H30.2.7(水)	大学独自の試験は課さない	H30.3.8(木)	大学独自の試験は課さない
合格発表日	H30.2.15(木) 午前10時		H30.3.14(水) 午前10時	
試験会場	福岡看護大学	－	福岡看護大学	－
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡看護大学 学生・入試課 TEL.092-801-0486(直通) FAX.092-801-0412 ●ホームページURL https://www.fdcnet.ac.jp/ncol/ ●E-mail knyushi@college.fdcnet.ac.jp			
	 ▲携帯電話からの アクセスは こちらから!			

福岡医療短期大学

歯科衛生学科 区分	一般入学試験				専攻科・口腔保健衛生学専攻	
	A日程	B日程	C日程	D日程		
募集定員	約10名	約3名	約2名	約1名		
保健福祉学科 区分	一般入学試験				二次募集	三次募集
	A日程	B日程	C日程	D日程		
募集定員	約3名	約1名	約1名	約1名	約5名	約5名
願書 受付期間	H30.1.4(木) ～1.30(火)	H30.1.26(金) ～2.14(水)	H30.2.15(木) ～2.28(水)	H30.3.5(月) ～3.16(金)	H30.1.4(木) ～1.30(火)	H30.3.5(月) ～3.16(金)
試験日	H30.2.1(木)	H30.2.16(金)	H30.3.2(金)	H30.3.20(火)	H30.2.1(木)	H30.3.20(火)
合格発表日	H30.2.8(木)	H30.2.22(木)	H30.3.6(火)	H30.3.23(金)	H30.2.8(木)	H30.3.23(金)
試験会場	福岡医療短期大学				福岡医療短期大学	

※社会人一般入学試験も上記日程(A日程、B日程、C日程、D日程)で行います。

AO入試(社会人含む) 歯科衛生学科(約30名)／保健福祉学科(約10名)			
願書 受付期間	H30.1.26(金) ～2.14(水)	H30.2.15(木) ～2.28(水)	H30.3.5(月) ～3.16(金)
試験日	H30.2.16(金)	H30.3.2(金)	H30.3.20(火)
合格発表日	H30.2.22(木)	H30.3.6(火)	H30.3.23(金)
試験会場	福岡医療短期大学		
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡医療短期大学入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/ ●E-mail gakumuj@college.fdcnet.ac.jp ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/sp/jcol/		

※社会人AO入学試験は上記日程で行います。 注)オープンキャンパス・AO入学試験については、希望により随時開催することがあります。

New Sophia 福岡学園広報誌 ニューソフィア 97号[VOL.26-①] Feb 2018

編集・発行／福岡学園広報・受験者対策委員会 広報誌編集部 〒814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1 TEL 092-801-0411(企画課:内線509)
平成30年2月1日発行